

鶺鴒三小だより 10月号

令和5年 長月29日
各務原市立鶺鴒沼第三小学校

「読書の秋」だからこそ 読書を！

「実りの秋」と言います。秋は、野菜や果物が実る季節です。昔は、春、田植えをして、夏の間、稲の世話をし、秋、お米が実ると、お米が取れたお祝いに、お祭りがありました。今でも「秋祭り」「村祭り」として実際にお祭りがあるところもあります。

春、夏と頑張ってきたことが、秋に自分のためになるのは、私たち「人」も同じです。来週には、皆さんの前期の頑張りを記した「教育通信」が配られます。楽しみですね。

さて、秋は、「読書の秋」とも言われます。夏に比べ、日も早く落ち、その分夜が長くなって、「秋の夜長」に、ゆっくり本を読むことができます。私は、夏休みに6冊の本を読んだのですが、その1冊に「論語」にかかわる本がありました。「論語」とは、昔の中国に「孔子(こうし)」と呼ばれる人がいたのですが、その孔子が弟子(でし)に向かって話したことをまとめた本です。中学校3年生の国語で学習します。その中に、こんな話がありました。

子曰く、「人の己を知らざるを患えず、人の知らざるを患うる也」

難しいですね。分かりやすく書くと、「自分を理解してもらえないと嘆くより、他人を理解していないことを気になささいと先生は、おっしゃった」となります。

学級で何かトラブルがあった時、「なんで、みんなは私のことをわかってくれないの」と悩むかも知れません。けれども、そう悩むのではなく、自分はまわりの人のことを理解できているのかと、自分に問いかけなさい、自分を見つめなさいと「孔子」は言っているのです。孔子は、2570年も前の人です。そんな昔から、

「人よりもまずは自分を見直しなさい。」とされているのです。

さて、今を生きる私たちはどうでしょうか。やはり、自分のことは棚に上げて、まわりの人が間違っていると思ってしまうのでしょうか。それとも、「自分はまわりの人に嫌な思いをさせていないか」と思っているのでしょうか。夏休みに「論語」を読んで、改めて私は、まずは自分を見つめてみようと思いました。

このように、読書は現代のことだけではなく、昔にあったことが知れたり、自分のためになることが、書かれていたりし、自分を実らすことになると思います。秋の夜長、是非、読書をしてみましょう。

【10月の予定】

日	曜	行事等
1	日	
2	月	個人懇談
3	火	個人懇談
4	水	個人懇談
5	木	クラブ
6	金	前期終業式
7	土	秋季休業日
8	日	
9	月	スポーツの日
10	火	
11	水	
12	木	後期始業式
13	金	心のアンケート実施日
14	土	
15	日	
16	月	発育測定(5年)
17	火	市長講話・発育測定(6年) 放課後子ども教室
18	水	発育測定(4年)
19	木	発育測定(3年)クラブ ららら学習室
20	金	発育測定(2年)
21	土	
22	日	
23	月	発育測定(1年)
24	火	
25	水	発育測定(たいよう)
26	木	委員会・ららら学習室
27	金	就学時健診
28	土	
29	日	
30	月	緑陽中校区学校運営協議会
31	火	野外学習(4年)

閉庁日

保護者の方へ 10月17日市長さんが来校されます！

本校の6年生は、第50期生になります。各務原市は、今年で市政60周年です。また、今年度本校では、ふるさと教育に力を入れており、ふるさと各務原を知ることについても、様々な取組をしています。そのような中、学校を代表する6年生に向けた進路講話の講師として、浅野市長が来校して下さることになりました。聞くところによると、市長さんは、中学校時代には、「多くの人のためになる仕事がしたい、だから市長になろう」とお決めになられたのだとか。半年後は中学生となる6年生に、自分の進む道を見つける参考になればと、お話しして下さいます。日程等は次の通りです。保護者の方も、お時間に都合がつけば、ご参加ください。(事前申込みは不要です)

日時 10月17日(火) 13:30~14:45
場所 本校体育館